

# 兵庫県北播磨地域の飲食店の立地と学生の動向

南 和樹

キーワード：飲食店，北播磨地域，学生，兵庫教育大学

## 1. はじめに

本研究は、兵庫県北播磨地域の飲食店の立地とその内容を調査し、学生の利用動向と合わせて考察することを目的とする。私は大学在学中の4年間を通して様々な飲食店に行った。本研究は、私自身の学生生活の集大成といっても過言ではない。

研究方法は次のとおりである。「2. 北播磨地域の特性」では、北播磨地域の飲食店について、主としてウェブページからデータを収集し、表にまとめる。「3. 兵庫教育大学の学生に人気の飲食店」では、学生の利用動向について、兵庫教育大学の学生連中にインタビューをする。まず、インタビュー対象者の個人属性（学年、性別、交通手段）を聞き、どのような人と行くのか、また、なぜその店に行くのかも聞く。インタビューの結果をまとめて、学生に人気の飲食店や、学生がどのあたりまで足を運んでいるのか、多くの学生がなぜその店に行くのか選好理由を考察する。「4. 飲食店の開業計画」では、兵庫教育大学から半径何 km 圏内に学生に人気の飲食店があるのか地図にまとめ、学生の行動範囲を考察する。

## 2. 北播磨地域の特性

北播磨地域は、多可町、西脇市、加東市、加西市、小野市、三木市の5市1町で形成されている（図1）。兵庫県のほぼ中央に位置しており、総面積は895.56 km<sup>2</sup>、県土の10.7%を占めている。加古川の中流域にあり、農業が盛んである。とくに、酒米の生産が非常に多く、山田錦というブランド米は、西脇市、加東市、三木市の3市で全国総生産量の80%が作られている。

この地域を南北に貫通する国道175号線沿いには、滝野工業団地、社工業団地、小野工業団地が立地し、これらの工場から多くの製品が出荷されている。また、播州織や播州算盤、金物、釣り針など地場産業がたくさんある。



交通基盤としては、JR 加古川線や神戸電鉄が通っており、加古川や神戸方面につながっている。神姫バスの営業所が加東市の社にあり、明石や姫路方面に路線バスが出ている。また、中国自動車道と山陽自動車道が東西に走り、高速道路を使って短時間で大阪や岡山へアクセスすることができる。

### 3. 兵庫教育大学の学生に人気の飲食店

学生に人気の飲食店を調べるに当たり、兵庫教育大学の学生に対してインタビューをした(表1, 表2)。よく行く飲食店をあげてもらい、その店に行く理由、1回の外食での料金などを答えてもらった。

学生の外食に関するインタビューにおいて、飲食店の選好理由に多くあげられたのは、料理が美味しいこと、夜遅くまで開いていること、値段が安いこと、ボリュームがあること、近くにあることなどである。とくに近くにある、値段が安い、料理が美味しいという三つが重視されていた。料金の平均は1,062.5円、約1,000円で、1回の外食に使う金額としては妥当なところである。

経済人仮説 (the economic man) では、完全に合理的な行動をする人を前提として、人の感情的な部分は無視される。これに基づくと、飲食店の選考基準はまず、近くにある、値段が安い、料理が美味しいという三つになると考えられる。

施設の立地と機能に決定的な意味をもち、北播磨の地域性において重要な交通網から考えてみたい。国道175号線沿いの加東市滝野近辺や小野市街近辺、三木市大村近辺には飲食店が並んでいる場所があり、混雑している。道路が広く、自動車が多く通っているため、飲食店が並んでいるのだと考えられる。学生に人気の飲食店トップ10(表3)のうち7店が国道175号線沿いにある。北播磨地域の飲食店は、この国道175号線沿いに立地することで集客している。また、飲食店のほとんどがチェーン店である。学生に人気の飲食店トップ10にランクインしている国道175号線沿いの7店のうち、5店がチェーン店である。

表1 インタビュー対象者の内訳

所属	男	女	計
学部	9	8	17
大学院	6	1	7
計	15	9	24

出所：インタビュー結果より作成

表2 インタビュー対象者の交通手段の有無

所属	交通手段	男	女	計
学部	有	8	4	12
学部	無	1	4	5
大学院	有	6	1	7
大学院	無	0	0	0
計		15	9	24

出所：インタビュー結果より作成

表3 兵庫教育大学の学生に人気の飲食店

順位	飲食店	得票数	国道175号線沿い	チェーン店
1	スシロー滝野社店	19	○	○
2	ジョイフル兵庫小野店	16	○	○
3	マクドナルド175号社店	13	○	○
3	小野塩元帥	13	○	○
5	丸亀製麺滝野社店	12	○	○
6	豊後	10	—	—
7	小野絶好調らーめん	9	○	—
8	ガスト社店	8	—	○
8	みのり庵	8	○	—
10	大月	7	—	—
計	インタビュー対象者数	24	7	6

出所：インタビュー結果より作成

#### 4. 飲食店の開業計画

兵庫教育大学の学生を対象とする飲食店を開業するとして。兵庫教育大学の学生に人気の飲食店の10位以内にランクインしている飲食店まで、大学からの所要時間は平均14.7分、約15分である。開業する飲食店の立地は、この時間内に自動車で行くことができる場所が最適と考えられる。図2に兵庫教育大学を中心とし、約15分で行けるスシローを半径とする円を描いてみると、大学からの適正距離は約7.8kmとなった。

このような条件を満たす飲食店を開業すれば、兵庫教育大学の学生の支持を得ることができ、繁盛するのではないかとというのが私の提案である。



図2 兵庫教育大学を中心とした学生に人気の飲食店の立地  
出所：『ハートにぐっと北播磨』p. 23の地図に加筆して作成

## 5. おわりに

本研究を通して、北播磨には思っていた以上に飲食店があることが分かった。その中には私が知らなかった、まだ行ったことのない飲食店も数多くある。一人一人の、飲食店に関する情報は限られ、行動範囲も限られている。

空間的行動に影響を及ぼすのは地域の交通条件と個人の交通手段である。北播磨地域の交通機関には、JR 加古川線、神戸電鉄、神姫バス、北条鉄道がある。また、小野市には小野市が運営するコミュニティバス「らんらんバス」がある。この地域のほとんどの交通機関は運行本数が少なく、運賃も高いなど不便な点が多い。

最終的に飲食店を選ぶのは、その人の趣向や好き嫌いかもしれない。ご飯をたくさん食べたい人はご飯のおかわりができる飲食店を選び、安価に腹いっぱい食べることを第一に考える人は、高くて量の少ない飲食店を選びはしない。その人それぞれの食事に対する趣向や好物によって選好は変わってくる。また、そのときに食べたいものや気分によっても左右される。

私自身の選好基準でとくに大切にしているのは、やはり美味しいこと、量が多いこと、値段が安いことの三つである。その日の気分によって選んだりもするが、多くの場合この三つを判断して選好する。そうすると自分自身で行く店は限られてくる。いつも同じ店ばかりになりがちなので、新しい店を探検するときにはふだんにはない高揚感がある。

行ったことのない店に行く機会はなかなかないと思うが、今では、インターネットやカーナビなど様々なメディアから情報を得ることができる。知らなかった店やあまり行かない店に行くことで、新しい発見や人との出会いがあるかもしれない。帝国ホテル総料理長、田中健一郎さんは、「料理は人を喜ばせ幸せにできる」と述べている。人は料理を食べて美味しいと思う瞬間、幸せな気分になれる。私はこれからも、兵庫教育大学の学生に人気の飲食店を追究したいと考えている。

## 参考文献

加西市観光まちづくり協会 (2014) : 『加西市観光ガイドマップ』, 加西市役所, 8p.

北播磨広域観光協議会 (2012) : 『ハートにぐっと北播磨』, 北播磨県民局, 24p.

多可町役場 (2014) : 『多可町観光ガイド』, 多可町役場, 9p.

## 参考 URL

北播磨県民局 : ハートにぐっと北播磨兵庫県・北播磨観光ポータルサイト

<http://www.kita-harima.jp> (2014年11月29日参照)

北播磨のグルメ・レストラン検索結果一覧 : ヒトサラ

<http://hitosara.com/hyogo> (2014年11月30日参照)

総務省統計局 : 『平成22年国勢調査小地域集計北播磨地域』

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk11/jinkou-tochitoukei/kokuseichousashouchiikishuukei.html> (2015年1月10日参照)

# The Location of Restaurants and the Preference of Students

## in the Kita-Harima Area of Hyogo

MINAMI Kazuki

Key Words : Restaurants, Kita-Harima Area of Hyogo, Students,  
Hyogo University of Teacher Education